

ウィンター・サバイバル

活動

- 雪山に不時着した時、持ち出す品物の順位の合意形成をする。

ねらい

- 状況判断力を養う。
- 自分の意見をしっかり話す。
- メンバーの意見をしっかり聞く。
- グループで話し合い、合意形成する。

ワークシート①を配布します。

- 5人組になる。なれない場合は4人組でも構わない。

進め方

- ① 5人組になる、
- ② 状況と課題を理解する。
- ③ 自分が重要と思う順に番号をつける。理由も考える。
- ④ 自分のつけた順位を発表する。
- ⑤ メンバーの順位を聞き、記録する。
- ⑥ 話し合っ、グループの順位を決める。
 - * 多数決や点数の平均でなく、メンバーの合意をとる。
 - * 時間は15分。
- ⑦ 各グループの順位と理由を発表する。

状況

2月中旬の午前11時30分頃、あなたたちの乗っているヘリコプターは、急にエンジンが故障し、雪山の森の中に不時着しました。

不時着の直前に、操縦士が北東30キロの地点にある町と連絡を取ることができました。操縦士は死んでしまいましたが、あなたたちは軽傷ですみました。不時着した場所は、昼の気温は-5℃、夜になると-15℃まで下がります。携帯電話の電波は届きません。

ヘリコプターには、次の10種類の品物が積んであります。ヘリコプターが爆発する危険性があるので、それらの品物を急いで100m先の大きな木の下まで持ち出さなければなりません。

課題

次の10個の品物をあなたが、重要と思う順に順位付けし、その理由を考えなさい。

冬山の専門家100人に聞いた答えがある。

- | | |
|------------|--------------|
| ア ピストル | カ 20cmのナイフ |
| イ 100円ライター | キ 板チョコレート5枚 |
| ウ 新聞5日分 | ク 大型懐中電灯 |
| エ 方角のわかる磁石 | ケ ウィスキー1瓶 |
| オ スキーセット1組 | コ 固形油の入った金属缶 |

	ア ピスト ル	イ ライ ター	ウ 新聞	エ 磁石	オ スキー	カ ナイフ	キ チョコ	ク 懐中 電灯	ケ ウイ ス キ	コ 油缶
A										
B										
C										
D										
E										
F										
正解										

状況を確認する

2月中旬の午前11時30分頃、あなたたちの乗っているヘリコプターは、急にエンジンが故障し、雪山の森の中に不時着しました。

不時着の直前に、操縦士が北東30キロの地点にある町と連絡を取ることができました。操縦士は死んでしまいましたが、あなたたちは軽傷ですみました。不時着した場所は、屋の気温は-5℃、夜になると-15℃まで下がります。携帯電話の電波は届きません。

ヘリコプターには、次の10種類の品物が積んであります。ヘリコプターが爆発する危険性があるので、それらの品物を急いで100m先の大きな木の下まで持ち出さなければなりません。

状況のポイントを押さえる

- 不時着する直前に操縦士が近くの町に連絡を取ることができたので、必ず救助隊が来る。
- 素人が、極寒の冬山を軽い服装で、30キロも移動するのは危険すぎる。移動は不可能である。

10位 方角のわかる磁石

- 移動に使いそうだが、冬山でむやみに移動すると危険である。

9位 ウィスキー1瓶

- 飲めば体が温まりそうだが、眠くなるので危険である。消毒には使える。

8位 スキーセット1組

- 助けを求めに行くのに使えそうだが、移動は危険である。旗を立てる棒や燃やす材料ぐらいには使える。

7位 20cmのナイフ

- 枝を切って燃やすぐらいしか使えない。凶器にもなる。

6位 ピストル

- 音の合図として使える。しかし、撃つには練習が必要である。イライラしてくると凶器にもなる。

5位 新聞5日分

- 火をつけるのに便利である。服の下に入れると寒さを防げる。読めば気晴らしになる。大きく広げると目印にもなる。

4位 大型懐中電灯

- 合図として役立つ。近くの移動にも役立つ。ただし、温度が低いので電池は長持ちしない。

3位 固形油の入った金属缶

- 体に塗れば寒さを防げる。燃やすこともできる。缶のふたで太陽を反射させて目印にもなる。

2位 板チョコレート5枚

- 食べればエネルギーの源になる。

1位 100円ライター

- 寒さを防ぐのに役立つ。物を燃やして救助隊に居場所を知らせることができる。

正解(冬山の専門家100人に聞きました)

1位	ライター	6位	ピストル
2位	チョコ	7位	ナイフ
3位	油缶	8位	スキー
4位	懐中電灯	9位	ウイスキー
5位	朝刊	10位	磁石

誤差の計算方法

- 数字の大きい方から小さい方を引き算する。
(例) 正解が3、自分(チーム)の順位が6
 $\Rightarrow 6 - 3 = 3$
 正解が8、自分(チーム)の順位が2
 $\Rightarrow 8 - 2 = 6$
- 誤差を合計する。
- 誤差が最も小さいチームが優勝。
- 自分の誤差とチームの誤差を比べる。

チームの誤差

- ~10 神業です。
- ~20 優秀です。
- ~30 人並みです。
- ~40 注意が必要です。
- 41~ 命が危険です。

ワークシート②を配信します。

ふりかえり

- あなたの誤差とチームの誤差を計算して書く。
- 役割の評価をする。
- 今日の授業をふり返って評価と学んだことや考えたことを書く。

まとめ

- ① 状況を正しく把握する。
- ② さまざまな角度から課題を考え、よりよい答えを探す。
- ③ 多くの人で話し合うと、豊富な体験や意見を聞くことができる。
- ④ 一人で考えるより、よりよい答えが見つかる。
- ⑤ 自分の誤差の方が小さかった人は、素晴らしい判断を伝えられなかったことになる。